



Junior Chamber International Yokohama
Worldwide Federation of Young Leaders and Entrepreneurs

Brand guidelines

社団法人 横浜青年会議所
ブランドガイドライン

はじめに

社団法人日本青年会議所は、日本における各地会員会議所の連絡調整機関として、また全世界の青年会議所と連携を図る目的で1951年2月9日に設立され、同年5月27日に国際青年会議所（JCI: Junior Chamber International）への加盟を果たしました。これは、日本が正式に国際連合に加盟（1956年12月18日）する以前の国際社会への復帰となりました。

その後、1957年には東京に於いて「JCI世界会議」を開催し、青年会議所運動が国際的な活動であることを広め、翌1958年に、これまで使用していた独自のJCマークから、国際連合のマークを配したJCIと共通のデザインのものに改められました。この新しいデザインには、「日本青年会議所は、国際憲章もその活動を認めるNGO・JCIの一員である」という誇りと、「JCIのメンバーは永続的かつ恒久的平和を希求し、活動する青年である」というJCIの理念が込められ、日本青年会議所会員の決意が表現されたものでした。

しかし近年、JCIにおいて、国際情勢の変化やそれに伴う価値観の多様化から、会員の減少、財政問題、将来の方向性の模索などの諸問題が発生し、「SPC(長期戦略会議)」では多くの問題が検討され、その解決策の一つとして、CI(コーポレートアイデンティティ)についての検討が進められてきました。

JCIのロゴマークについても、1980年代初頭から議論され、一部修正が加えられ、その後も変更はあったものの、イメージを一新する決定的な変更には至りませんでした。しかし、2003年にはブルース・レクターJCI会頭の強力なリーダーシップにより、ブランディングという概念の下、具体的なイメージ案が提出され、同年11月のコペンハーゲンで開催された「JCI世界会議」の総会に於いて、新JCIロゴマークが承認され、JCIの公式ロゴマークとして制定されました。

これを受けて社団法人日本青年会議所は、翌2004年度から準備を進め、2005年には「JCブランディング創造会議」を設置し、日本青年会議所の戦略的なブランディングとして、新JCロゴマークについて検討を重ねて参りました。進化させるものと継承すべきものを見極め、2005年9月30日に開催された「全国会員大会（姫路大会）・第119回通常総会」に於いて、これまでのJCマークを新JCIロゴマークに変更することを各地会員会議所の理事長の皆様に審議をしていただき、可決、承認されるに至りました。

社団法人日本青年会議所は、JCIの決断を積極的に取り入れる事が、JCIに加盟するNOMとしての責務だと捉えています。JCIに加盟する世界各地の青年会議所のメンバーと更なる結束を高める一方、NOMとしては、社団法人日本青年会議所がJCIに加盟した当時の「喜び」と「誇り」を忘れることなく認識し、社団法人日本青年会議所のブランディングの一環として、広く活用していただきたいと考えております。

「社団法人日本青年会議所ブランドガイドライン」より

2008年12月
社団法人 横浜青年会議所

1 JCIコーポレートマークについて

JCIブランド構築

「コーポレートブランドガイドライン」は、JCIの表示が使用される際、常にJCIの視覚的要素が適正に使用されることを保証するものである。JCIの様に大規模で多様な組織に一貫性を保たせるためには、ガイドラインを公表することが必要である。JCIに世界的に統一されたコーポレートアイデンティティを与え、その視覚的認知度を高め、更なる会員拡大の機会をもたらすために、これらのガイドラインは守らなければならない。

ブランドガイドライン構築の目的は、大規模で多様な組織であるJCIの視覚的イメージに統一性を創ることである。規格は厳守されることが重要であり、特にJCIのロゴは守らなければならない。

なお、JCIのマークは登録商標であり、JCI事務局にて管理され、許可がない限り他団体によるJCIマーク使用は許されない。〈JCIコーポレートアイデンティティは、JCIホームページ (<http://jci.cc>)にて公開しておりますので、併せてご参照下さい。〉

JCIコーポレートマーク

JCIコーポレートマークは、次の3つの要素から構成される。

- ①ロゴタイプ
- ②JCI紋章
- ③附帯事項（NOM名・JCIキャッチコピー）



2 横浜JCマークの形状

横浜JCマークの形状は3タイプとし、いずれかを使用するものとする。なお、横浜JCマークの形状を変形して使用することは出来ない。

① 附帯事項表記なしタイプ



② 附帯事項表記ありタイプ



③ 横均等タイプ



3 横浜JCマーク カラーパレット

横浜JCマークの色は、JCIコーポレートマークに準じ、JCIアクア（PANTONE 2925もしくはDIC 140）を使用する。また、JCIアクア以外で、黒を使用することも可能である。（この場合、附帯事項も黒で統一する。）
 なお、附帯事項におけるLOM名およびJCIスローガンは、JCIオレンジ（PANTONE 1665もしくはDIC C-48）を使用しても構わない。
 なお、その他の色は使用しないものとする。



特色
PANTONE 2925 もしくは
DIC 140 (大日本インキ)

CMYK	RGB
C 87%	R 0
M 23%	G 151
Y 0%	B 215
K 0%	Web #0097D7



特色
PANTONE 1665 もしくは
DIC C-48 (大日本インキ)

CMYK	RGB
C 0%	R 243
M 69%	G 113
Y 100%	B 33
K 0%	Web #F37121

4 横浜JCマーク 字体表記

横浜JCマークにおける附帯事項（LOM名・JCIキャッチコピー）のアルファベット字体表記は、一貫性と簡略化のため、一定の字体：Helvetica Neue（新ヘルベチカ体）、もしくはHelvetica（ヘルベチカ体）を使用するものとする。なお、日本語字体表記については、太ゴシック体を使用するものとする。

（Helvetica Neue 表記例） Helvetica Neue Roman

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz1234567890
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

Helvetica Neue Roman

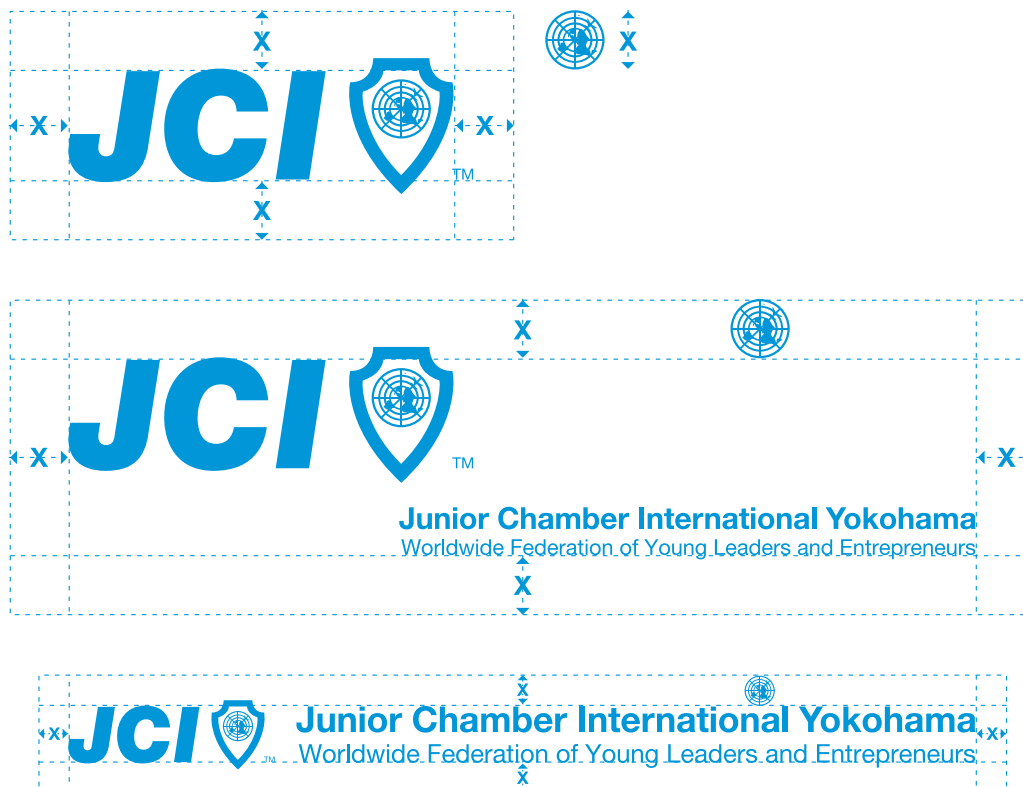
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz1234567890
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

（太ゴシック体 表記例）

社団法人 横浜青年会議所

5 横浜JCマークのサイズ

横浜JCマークのサイズは、JCマーク内にある地球儀円を基準とし、サイズを決めるものとする。このマークは常に、地球儀円直径分の余白を設けて表示するものとする。



6 横浜JCマークの不適正な使用について

横浜JCマーク使用にあたってはマーク要素、形状、サイズを変形して使用してはならない。

(例)

- マークの一部だけを抜き出して使用してはならない。
- マークの各部分を分離して使用してはならない。
- マークの比率を変更してはならない。



7-1 日本語表記を入れる場合

横浜JCマークに日本語で青年会議所名を入れる場合は、次の通りとする。なお、字体表記については一定の字体：太ゴシック体、色についてはJCIアクアもしくは黒を使用するものとする。



7-2 日本語表記を入れる場合

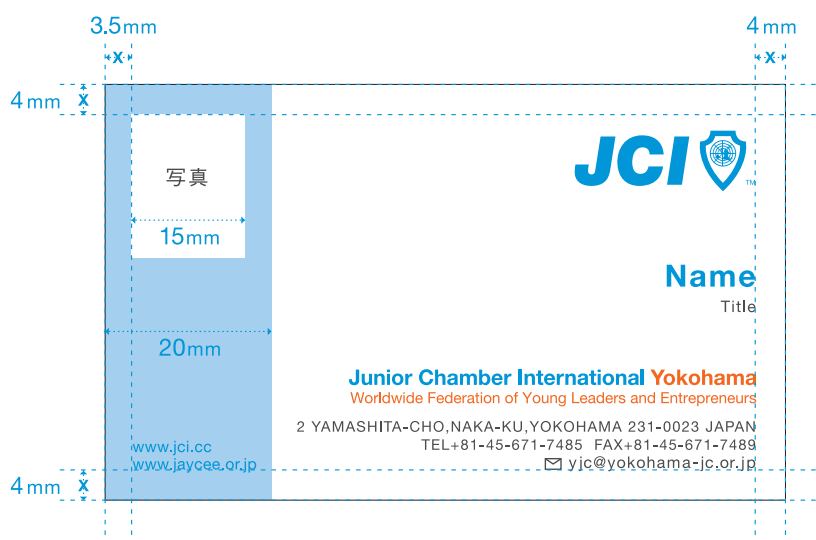
横浜JCマークに日本語で青年会議所名を入れる場合は、次の通りとする。なお、字体表記については一定の字体：太ゴシック体、色についてはJCIアクアもしくは黒を使用するものとする。



8 横浜JC名刺について

名刺は、英語表記面は次の通りとする。なお、日本語表記面は全委員会統一とする。

(英文表記面)



9 横浜JC旗について

横浜JC旗については、次の通り表記し、作成するものとする

- サイズ 縦100cm×横150cm
- 白地にJCIアクアブルーの染め抜き
- 表記文字はLOM名のアルファベット表記のみ。



社団法人 横浜青年会議所

〒231-0021 横浜市中区山下町2 産業貿易センター6F
TEL 045-671-7485 FAX 045-671-7489

制作日 2008年12月